都市再生整備計画（第四回変更）

平和公園地区

長崎県　長崎市

平成29年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	長崎市	地区名	平和公園地区	面積	86.47 ha

計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度

目標

大目標：平和都市ナガサキを象徴する地区として、観光客並びに地域住民が利用しやすく、親しみやすいまちなみの整備

目標1	観光客が回遊しやすいまちづくり
目標2	安全で快適に住み続けられるまちづくり
目標3	

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・緑豊かな平和公園を中心とする本地区は、恒久平和を祈念する地域として、また恵まれた環境の住宅地として、長崎市においても特徴のある地区である。
・本地区の大きな面積を占めている平和公園は、祈りの空間、スポーツレクレーションの場、緑陰のある潤いと安らぎの場として、多くの市民、観光客が訪れる場所となっている。
・平和公園は、国道206号をはさみ、東西に分かれており、東側は、原爆落下中心碑が置かれ、被災当時の様子を現在に伝える「中心地地区」と、平和祈念像や平和モニュメントを設置し、平和祈念式典の会場ともなる「祈念像地区」、被爆資料などを展示し、多くの人々が平和学習に訪れる原爆資料館等がある「国際文化会館地区」から構成されており、修学旅行生や個人観光客が国や地域、季節を問わず多く訪れている。
・また、西側は、県営野球場や、市民プール、サッカー・ラグビー場、陸上競技場などの各種運動施設があり、2014年に開催予定の長崎がんばらんば国体における長崎市の中心施設として位置付けられている地区である。
・さらに、本地区内の住宅地は、斜面住宅地が多い長崎市の中で、比較的ゆるやかな丘陵地に連なり、平和公園をはじめとする豊かな緑地に囲まれ、閑静な環境にあり、長崎市の中でも良好な環境の住宅地の一つに挙げられており、周辺には地域に根差した賑わいのある平和町商店街が存在している。
・本地区は、長崎の街の印象を左右する、長崎らしさを代表する地域の一つであり、長崎市の都市景観形成上、重要な役割を担っている地区であるため、平成7年度から地域の自治会を中心とした景観まちづくり協議会が発足しており、平成13年度には景観形成地区（平成23年度から景観条例の施行に伴い、景観形成重点地区に移行）に指定され、官民一体となった景観づくりに取り組んでいる地区である。

課題

・本地区には平和公園以外にも長崎の歴史と文化を物語る施設が多く存在するが、市街地という性質上、幹線道路や生活道路が縦横に走っており、観光施設を回遊するルートがわかりにくい。
・そのため、近年増加している小規模グループや個人の観光客は、平和祈念像までは訪れるものの、その先にある浦上天主堂や平和町商店街等までは足を運んでいない状況である。
・山里小学校から平和町商店街に至るルートは、通勤や通学、買い物など、多くの地域住民が通る主要道路で、車の通行量も多いが、歩車道が分離されておらず危険な状況である。
・また、西地区の松山陸上競技場は、マラソンやウォーキングなど、地域住民のみならず、長崎市民に広く親しまれる場所であるが、既存の木製ベンチは老朽化しており、利用者が安心して休憩できる空間になっていない。
・さらに、本地区の中心を流れる下の川（都市下水路）においては、一部がコンクリート3面張りで施工されており、無機質で潤いが感じられない環境となっている。

将来ビジョン（中長期）

・長崎市総合計画においては、「景観、まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めること（A2）」「観光交流で賑わいを創出すること（A4）」「被爆の実相を継承すること（B1）」が基本施策として位置づけられている。
・長崎市都市計画マスタープランにおいては、平和公園を中心とした誰もが安心して快適に生活できるまちづくりを目指し、「国際平和公園文化都市の拠点として、交流と活力のある都市づくり」という基本目標を掲げ、主な市街地整備方針として、「平和公園をはじめ周辺に被爆建造物や慰霊碑、記念碑などが多く立地しており、これらを保全するとともにネットワークを形成し、連携強化を図る」としている。
・長崎市景観計画においては、平和公園地区を景観形成重点地区に指定しており、「被爆遺構、平和を祈念する施設を中心に被爆の実態を後世に伝え、恒久平和を訴えていく舞台として、世界に誇れるまちづくりを図る」、「地域内を一体的に回遊できるように、わかりやすいまちかど、優しいまちすじを創出し、潤いと親しみのあるまちづくりを図る」、「住宅地の中にも観光的要素が存在するため、住民にとっては暮らしやすく、来訪者にとっても快適な印象を与えるまちづくりを図る」という景観の形成に関する方針が掲げられている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
平和町商店街の歩行者通行量	人	長崎商工会議所歩行者通行量調査（日曜；10～18時）の結果	回遊環境の整備による歩行者通行量の増加	1731人	H24	1820人	H28
平和公園地区内の定住人口	人	長崎市第4次総合計画に基づく平和公園地区内の人口推移シュミレーションの結果	安全で快適な居住環境の整備による定住人口の維持	7982人	H24	7800人	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【整備方針1】観光客が回遊しやすいまちづくり ・祈念像地区から浦上天主堂を経由し、松山電停周辺に抜けるルートを回遊ルートとして位置づけ、歩道の舗装等を行うとともに、案内板や誘導板を整備することにより、観光客の回遊性の向上を図る。 ・東地区の中心地地区や祈念像地区の園路整備、広場整備を行い、観光客がゆっくりと休憩できるような場所を設けるとともに、公園内のトイレを改修し、快適にまち歩きができる環境を整える。	道路（市道松山町大橋町線）・・・基幹事業 地域生活基盤施設（案内板、誘導板）・・・基幹事業 高質空間形成施設（平和公園東地区）・・・基幹事業 地域創造支援事業（トイレ整備）・・・提案事業
【整備方針2】安全で快適に住み続けられるまちづくり ・現況道路は、歩車道が分離されていないため、歩道をカラー舗装化することにより、地域住民が安全に歩ける環境を整える。 ・西地区の松山陸上競技場は、マラソンやウォーキングなど、地域住民のみならず、長崎市民に広く親しまれる場所であるが、既存の木製ベンチは老朽化しており、利用者が安心して休憩できる場所ではないため、よりデザイン性が高く耐久性のあるベンチを設置することで、利用者が快適に休憩できる空間を創出する。 ・景観重要公共施設に指定している下の川（都市下水路）において、緑を増やすとともに生物が生息できる自然環境に配慮した川づくりを進めることにより、周辺景観の向上を図る。	高質空間形成施設（平和公園西地区）・・・基幹事業 地域創造支援事業（下の川都市下水路護岸修景整備）・・・提案事業

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	466.9	交付限度額	186.7	国費率	0.400

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路		市道松山町大橋町線	長崎市	直	510m	H28	H28	H28	H28	190	190	190		190
〃														
〃														
〃														
〃														
〃														
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		案内板、誘導板	長崎市	直	－	H24	H28	H24	H28	34.4	34.4	34.4		34.4
高質空間形成施設		平和公園東地区、西地区	長崎市	直	－	H24	H27	H24	H27	169.4	169.4	169.4		169.4
高次都市施設　（地域交流センター）														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										393.8	393.8	393.8	0.0	393.8 …A

提案事業

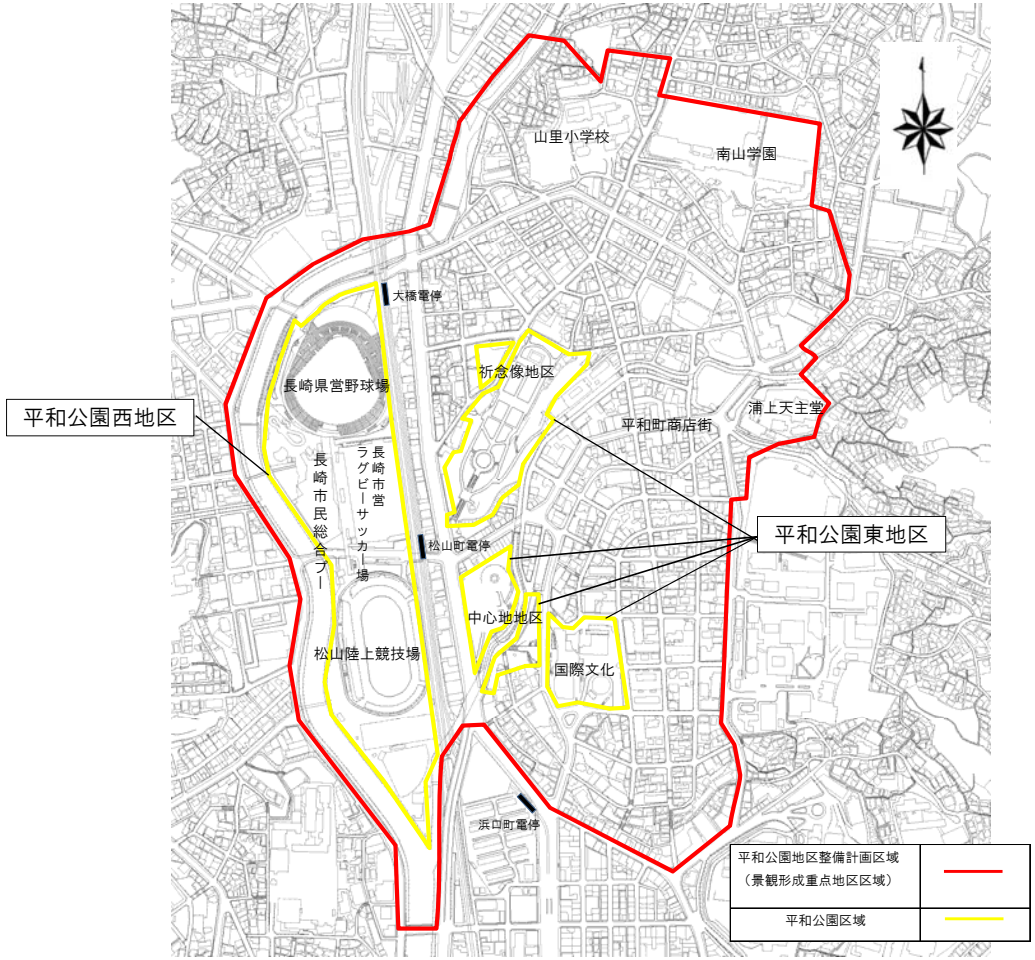
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	よみがえる川整備事業	下の川都市下水路	長崎市	直	261m	H24	H25	H24	H25	45.1	45.1	45.1	0.0	45.1
	トイレ整備事業	平和公園東地区（祈念像地区）	長崎市	直	2箇所	H24	H25	H24	H25	24.4	23	23	0	23
事業活用調査	事業効果分析調査	平和公園地区	長崎市	直	86.47ha	H28	H28	H28	H28	5	5	5	0	5
		―			―									
まちづくり活動推進事業														
合計										74.5	73.1	73.1	0.0	73.1 …B
													合計(A+B)	466.9

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
合計											0

都市再生整備計画の区域

平和公園地区（長崎県長崎市）	面積	86.47ha	区域	平和町、平野町、松山町、上野町、岡町、橋口町、本尾町



長崎市平和公園地区（長崎県長崎市） 整備方針概要図

目標	平和都市ナガサキを象徴する地区として、観光客並びに地域住民が利用しやすく、親しみやすいまちなみの整備	代表的な指標						
			平和町商店街・の歩行者通行量	（ 人 ）	1,731	（ 24年度）	→ 1,820	（ 28年度）
			平和公園地区内の定住人口	（人）	7,982	（ 24年度）	→ 7,800	（ 28年度）
				（ ）		（ ）	→	（ 年度）
				（ ）		（ ）	→	（ 年度）

■提案事業：（市）（H24～H25）
トイレ整備事業

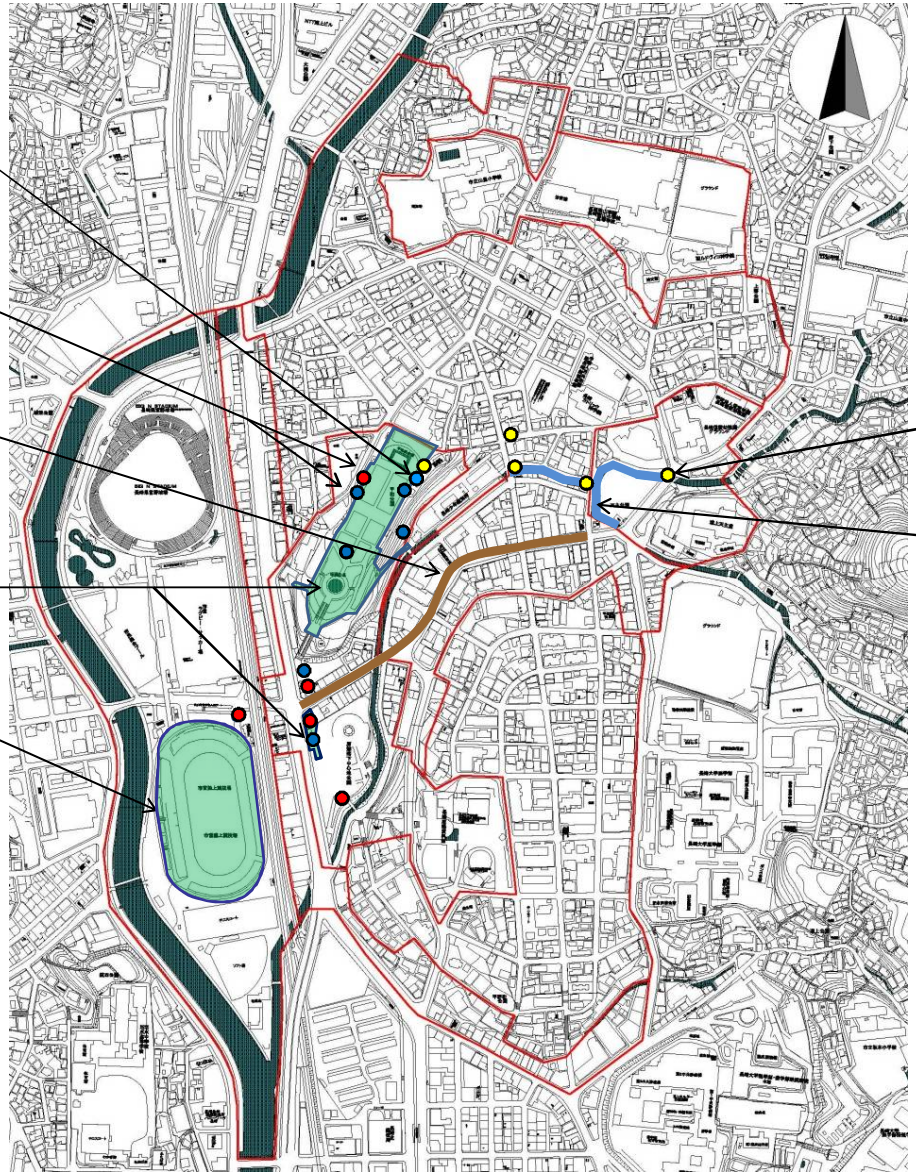
■基幹事業：（市）（H24～H28）
地域生活基盤施設（案内板）

■基幹事業：（市）（H28）
市道松山町大橋町線道路改良工事

■基幹事業：（市）（H24～H27）
高質空間形成施設（平和公園東地区）

■基幹事業：（市）（H24～H25）
高質空間形成施設（平和公園西地区）

■提案事業（市）（H28）
事業効果分析調査



■基幹事業：（市）（H28）
地域生活基盤施設（誘導板）

■提案事業：（市）（H24～H25）
仮称：よみがえる川整備事業

凡　例

- 対象区域（景観形成重点地区）
- 基幹事業
- 提案事業
- 地域創造支援事業
- 道路事業
- 地域生活基盤施設（公園案内板）
- 地域生活基盤施設（地域案内板）
- 地域生活基盤施設（誘導板）
- 高質空間形成施設